

顔・首への長期外用中止後に反復する腫脹を経て外見が整った成人アトピーの経過 (28 歳 女性)

症例 ID：001-20-OT | 記録日：2002 年 3 月 3 日

1. 診断・治療前経過

中学生頃から喘息発作、鼻炎、顔と首のアトピーがあり、長年ステロイド外用を続けました。
治療開始前には外用してもかゆみと赤みが治まりにくく、睡眠も浅くなっていました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔と首を中心にステロイド外用薬を長年使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	中学生頃から 28 歳頃まで長期に使用しました。
中止時期	12 月 25 日の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
12 月 25 日	治療開始	ステロイドを中止し治療を開始しました。
12 月 30 日頃	急性悪化	顔が赤く腫れ、眼が開きにくくなり、数日会社を休みました。
その後 1 か月半	反復する症状	約 1 週間周期で顔の腫れ、強いかゆみ、かさぶた形成を約 6 回繰り返しました。
2 月中旬頃	回復傾向	顔の見た目がほぼ通常に戻り、体の負担も軽減しました。
3 月 3 日	経過中	かゆみと湿疹は残るものの、仕事と日常生活を続けていました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 5 日後頃に顔が強く腫れて眼が開きにくくなり、その後 1 か月半に同様の症状を約 6 回繰り返した時期です。

5. 困りごと

- 顔の腫れと外見の変化で人目が負担となり、数日会社を休みました。
- 微熱、だるさ、強いかゆみがあり、職場で一日座っていることもつらい時期がありました。

6. 経過のまとめ

2 月中旬頃から顔の見た目はほぼ通常に戻り、体の負担も大きく軽減しました。
記録時点では、仕事を続けながら通常の生活が送れるようになっていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。